［広報ひろさき］

hirosaki

Contents

02 目次
弘前城情報館オープン！

特集
03 施政方針と予算

市政情報
09 ◆弘前の教育が変わります！
◆ひろさき多子家族応援パスポート
◆平成30年度弘前リードマン派遣事業
◆非常勤職員を募集　ほか

フォトコレ in ひろさき
15 沢田ろうそくまつり
鬼沢のハダカ参り
国際理解講座　ほか

暮らしの information
16 イベント、教室など

Health Information
24 健康の掲示板
狂犬病予防注射・犬の登録

学生企画コーナー
27 もっと②♥弘前 !!

読者のひろば
28 smile 通信
さらっと一句・川柳
弘前図書館近着図書紹介
食改さんおすすめレシピ

4月20日（金）
弘前城情報館 オープン！

弘前公園内に整備を進めていた弘前城のガイダンス施設「弘前城情報館」がいよいよオープンします。

津軽氏居城の歴史や弘前城築城と変遷など、弘前城についてタッチパネル式の映像で学ぶことができます。また、弘前城の歴史だけでなく、石垣修理の最新情報や周辺観光情報なども知ることができます。

建物は休憩所にもなっていますので、弘前公園にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

【施設概要】
▽**ところ**　弘前公園二の丸下乗橋東側
▽**開館時間**　午前９時～午後５時
※園内まつり期間中は午後９時まで延長。
▽**入館料**　無料

【オープニングセレモニー】
▽**とき**　4月20日（金）、午前９時30分～（一般公開は午前10時ごろ～）
■**問い合わせ先**　公園緑地課（☎33・8739）／市みどりの協会（☎33・8733）

【今号の表紙】
いよいよ100周年 !!

弘前観桜会100周年バージョンのたか丸くんと、弘前公園の桜をモチーフにした新曲「101回目の桜」をリリース（４月３日）し、弘前観桜会100周年アンバサダー（大使）に就任した「RINGOMUSUME（りんご娘）」が追手門広場に！ 100周年となるさくらまつりを盛り上げようと一致団結！今年は、いつも以上に素敵なさくらまつりとなりそうです。
※さくらまつりの詳細は４月15日号に掲載予定。

特集
施政方針と予算

平成30年第１回市議会定例会の初日（２月16日）、葛西市長は施政方針演説を行い、新たな年度に向けた決意とともに、市が今後１年間目指していく方向を示しました。今号では、この「施政方針」と、市議会定例会で議決された各会計予算や主な事業などを紹介します。

平成30年度施政方針
～市民生活に寄り添い、そしてオール弘前で未来につなげる～

私は、平成22年４月より市政を担わせていただき、市政の課題を解決するとともに、弘前の元気のため、そして、子どもたちの将来のため、さまざまな事業に取り組み、全力でまい進してまいりました。

私の政治の原点は、「対話と創造」であります。私は、市民との対話を重ね、市民にわかりやすい行政経営を進め、さらに、毎年、計画の内容をＰＤＣＡサイクルにより、深化・成長させるとともに、激変する社会情勢にも対応できるようなシステムを構築してまいりました。

現在、平成30年度からの新しい総合計画の策定に全力で取り組んでおりますが、策定にあたっては、これまで以上に市民との話し合いの場を設けました。弘前の現状や課題を、市民の皆さまと共通認識したうえで、同じ方向で取り組むことが大切であると考え、市民や各種団体との意見交換会を計48回行い、延べ1,000人以上の市民および164の団体から生の声を聴くことができました。

新しい計画では、政策課題を的確に把握するため、統計による数値などのデータ分析を深め、そこに、意見交換などでいただいた市民の生の声を加えております。

この市民の思いの詰まった、対話と創造で作り上げたこれまでにない計画によって、市民生活に寄り添いながら、将来に向け必要な投資を行い、創意工夫し取り組みを進めてまいります。

目の前に迫る人口減少、少子高齢化の進展や複雑多様化する地域課題に対処するとともに、先人たちが築き上げた「ふるさと弘前」を、長期的な視点に立ち、未来への道筋をしっかりとつけ、自立的で将来にわたって持続可能な都市とするため、これからも市民、民間事業者、大学、地域コミュニティ、行政が一体となり、「オール弘前」体制で未来につなげる努力をすることが「笑顔あふれるまち弘前」の実現に結びつくことと確信しておりますので、市民の皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、平成30年度の施政方針といたします。

※「平成30年度施政方針及び予算大綱」を要約・抜粋しました。

平成30年度予算
～「子どもたちの笑顔あふれるまち 弘前」の実現に向けて～

平成30年第１回市議会定例会（３月14日閉会）において、平成30年度の予算が議決されました。ここからは各会計の予算について紹介します。
■**問い合わせ先**　財務政策課（☎35・1110）

平成30年度の一般会計予算の総額は、767億350万円で、前年度と比較して、11億3,650万円、1.5%の減となりました。

平成30年度予算は、４月に市長選挙が実施されることから、人件費、扶助費および公債費といった義務的経費や、施設管理費などの経常的経費を中心に計上した、いわゆる「骨格予算」として編成しました。ただし、現在の経営計画に掲げ取り組んできた政策的経費であっても、継続して実施しなければ市民生活に影響のある事業や年度当初から取り組むべき事業等については、必要な予算を盛り込み、切れ間なく最大限の事業効果が発揮できるよう考慮しました。また、次期総合計画の策定にあたって実施してきた、市民・地域・団体などとの意見交換を踏まえ、できる限り意見を反映させることとし、子ども・高齢者・障がい者などへの配慮、市民の満足度向上などにも気を配った骨格予算としています。

健全財政を保持

平成30年度は、骨格予算での比較ですが、前年度と比べて予算が減額となりました。減となった主な理由は、庁舎増改築事業や津軽歴史文化資料展示施設等整備事業などの大規模建設事業が終了したことによるものです。また、事業の検証と見直しによる「選択と集中」を図るなどして、健全財政の保持に努めています。

なお、今後の財政状況を推計している「弘前市中期財政計画」でも、将来にわたって健全な財政状況を保持しており、引き続き安定的に行政サービスを提供できる見込みとなっています。